

II 教 育 計 画

1. 三浦市の学校教育「三浦らしい教育」で育てたい子ども像

- 1 心身ともに健康で調和のとれた人間性豊かな子ども
- 2 郷土と日本の歴史、経済、社会、文化を理解し、郷土三浦を愛する子ども
- 3 世界の国々を理解し、すべての国民と仲よくできる国際性をもった子ども

2. 本校のめざす子ども像

子どもたちに自己の確立と他を思いやる心情を育んでほしいと願う。

言い換えれば、自分の考えをしっかりと持ち、物事に対処できる子であり、自分をいとおしみ他者をもいとおしむ、生命あるものすべてを慈しむ子であってほしいと願う。

このことを実現していくためには、互いに切磋琢磨しながら、自他ともに大切にする心情の育成を図ること。思いつきではなく、根拠をもって物事を深く追究する知性を養うこと。日常生活の中でのさまざまな問題に積極的に関わり、それらを解決していこうとする行動力を身に付けていくことが大切であると考える。

また、子どもたちが、これからの変化を予測しがたい時代に対応して生きていくためには、醸成された人間関係の中で、主体的にお互いの考えを共有し、高め合いながら深く学び合い、自らの力で問題解決を図っていくことが求められる。

そのようなことを考え合わせ、次の教育目標を設定した。

3. 本校の教育目標

- ① 心 ゆたかな子
- ② 考え 創造する子
- ③ 主体的に取り組む子



「三浦らしい教育」の推進

- 授業を核とした「生きる力」の育成
 - * 「学びづくりの推進」
 - * 「みうら学・海洋教育の推進」
- 一人ひとりを大切にする指導の充実
 - * 「人権教育の充実」
 - * 「特別支援教育の推進」

4. 教育目標具現化の方策

キャッチフレーズ「**やっちゃん 三小**」

- ▶小規模校化している現状を受け止め、その中でより質の高い教育を子どもたちに提供するため、新たな発想を積極的に持ち、「攻め」の姿勢で様々な指導法の工夫・改善を図ろう！

(1) 学校経営の基本的スタンス

『**小規模校であることを「強み」とした学校づくり**』

- ① 一人ひとりの子どもとしっかりと向き合い、授業の質を高めることを教育活動の根幹とする。
 - ▶基礎・基本の定着を図るとともに、「主体的で対話的な深い学び」の実現に向けた授業を展開し、保護者・地域から信頼される学校づくりを進める。
- ② 全教職員の主体性や新たな視点を大切にし、創造的な教育が展開できる学校づくりを進める。
 - ▶学年や教科の枠を越え、創意・工夫した教育活動を推進し、自ら学び、自ら考える力の育成を図り、確かな学力と『生きる力・自立心』を育む。
- ③ 家庭、地域との連携を図り、地域とともにある学校づくりを進める。
 - ▶「あったかい町 三崎」のヒト・モノ・コトとの交流を積極的に行い、教育活動の充実を図るとともに、地域から信頼され、必要とされる学校づくりを進める。
- ④ 基本的生活習慣の定着とお互いの人権を尊重する学級づくりを進める。
 - ▶「五常の松」の教え（仁義礼智信）を常に心に持ち、豊かな人間性と人権を尊重する学級風土をつくる。（いじめのない学級づくり）

(2) 本年度の努力点

① 学級・学年の枠を越えた創造的な教育活動の展開

- ▶小規模校であることを「強み」と捉え、既成の枠にとらわれない新たな視点やアイデアをもって「攻め」の教育活動を展開する。
- ▶一人ひとりの子どもと向き合い、個に応じた授業を工夫し、基礎・基本を定着させることができる授業づくりを推進する。
- ▶お互いの個性を認め合いながら、良好な人間関係を育める学級づくりを進める。

② 地域とともにある学校づくりの推進

- ▶歴史と伝統のある三崎小学校、地域に愛されている三崎小学校であることを常に意識し、その期待に応えられるよう「三崎らしさ」を大切にしつつ、家庭・地域と協働した学校づくりを進める。